

項目	議事	発言者
	→ コンビニや市民レストランも採用できなかった意見である。特に、市民レストランは経営を考えると広い面積を必要とするため非常に難しいと判断した。レストランの代わりにべにばなカフェを検討している。自販機の設置のほか、福祉団体が作ったパンや飲み物を提供する場所を考えている。コミュニケーションを含めた場所の提供を考えている。	桶川市
	→ レストラン運営は難しく、利益を追求すると2年程しかもたない例が多い。それよりは、障がい者団体と協力したほうがよいと考える。上尾市役所でそのようなスペースを開設している。	桶川市
	・ 議場について、どのような意見があったのか。	市民参加者
	→ 議場を市民開放して利用したいという意見です。議場は他の部屋より天井が高いため、コンサートをやりたいといった要望がありました。ですが、セキュリティの問題や、議場内に様々な家具や装置を設置し、それらの移動が容易でないため、議場の市民利用は難しいと考えている。	日本設計
	・ 議場の市民開放は誰からの要望か。	市民参加者
	→ 市民からの要望である。	日本設計
	→ 一部の議員からも挙がっていた。	桶川市
	→ 議場の市民開放は賛成である。	市民参加者
	・ ヘリポートの設置の有無は。	市民参加者
	→ 周囲に高い建物がないため、緊急時の利用に限って設置することも可能と考えるが、費用が掛かる。	日本設計
	→ 市内で数箇所、着陸場所を市内で設けている。	桶川市
	・ 太陽光パネルによる発電量はどの程度を予定しているか。	市民参加者
	→ 10kw/h程度を想定している。一般的な住宅での発電量が4kw/hなので、それより少し多い程度。	日本設計
	・ 節約も必要だが、お金を掛ける部分はしっかりと掛けてもらいたい。	市民参加者
	→ 安かろう悪かろうもいけないといった意見もいただいている。華美でなく、みんなが使いやすく、合理的で耐久性のある庁舎を目指している。また、維持費が掛からないような作り方も工夫していかなければならないと考えている。	桶川市
	→ 天井を張らない工夫はグッドアイデアだと思う。	市民参加者
	→ 直天井については好みが分かれるところではあるが、このような工夫をしていきたい。山梨市役所で直天井方式を採用している。階高を抑えつつ、より広い空間を確保できる他、照明や空調設備機器のメンテナンスが容易である。執務室は直天井とし、会議室等皆さまも利用するスペースについては天井を張ることを考えている。	桶川市
	・ 免震ゴムの不正が問題になっているが、問題発覚後にやり直したところはあるか。	市民参加者
	→ どの免震装置を採用するかまで設計が進んでいないが、今後もそのような装置は採用しないよう留意する。	日本設計
	・ 市長関連諸室はどの程度の広さか。すごく広いのか。オープンな設えなのか。	市民参加者
	→ 他と比較すると若干狭いスペースである。	桶川市
	→ セキュリティ上、オープンな設えにはならない。	桶川市
	・ 市役所が閉庁している中で、休日市民開放をどのように運営していくのか。セキュリティや何かが起こった時の対応を考えると、難しいのではないか。FM局も含めて庁舎内に入れるべきなのかなとも思う。	市民参加者
	・ パブリックコメントとは何か。意見を聞く期間ということか。	市民参加者
	→ 文書として意見を挙げていただく期間である。文書の体裁は紙面でもメールでも受け付けている。	桶川市
	→ 市内公民館4箇所(桶川、東、加納、川田谷)と分庁舎、情報公開コーナー、市HPにて閲覧可能である。市HPには様式も用意している。	桶川市
	・ 基本設計(案)に載っているカフェやFM局はあくまでも計画であって、意見が出れば他のものに変わる可能性もあるということか。	市民参加者
	→ 意見によっては多少の入れ替わりもありえる。	桶川市
	→ 挙げられた意見とそれに対する市の回答を公表する。	桶川市
	・ 展示ホールと活動室は別の部屋ではないのか。	市民参加者
	→ (展示ホール)の表記は、市民活動室の使い方例を示しており、市民開放の中で様々な使い方ができる部屋としている。	桶川市
	・ 市民活動室や市民FM局といった新しいものを取り入れて、桶川市としてうって出て行く姿勢を見せていくことが大事だと思う。	市民参加者
	・ 市長室に専用の非難口を設けているのか。	市民参加者
	→ 現時点では設けていない。必要があれば今後の検討による。	日本設計
	→ コストだけでなく、スペース的にも余裕がないため専用の非難口を設けることは難しい。その代わりに、秘書課を通してアクセスする等、入口でのセキュリティを強化することで対応していく考えである。	桶川市
	・ 点字ブロックの色味や設置範囲について、検討は進んでいるのか。	市民参加者
	→ 敷地内の必要とする範囲に設置する。設置について、法的にも定められている。色は様々な考え方があがるが、デザインの観点だけでなく、色弱者の方々にも配慮したブロックの採用も今後検討する。	日本設計
	・ 設計体制にチェックチームとあるが、何をチェックするのか。お金のチェックか。また、どのような体制なのか。	市民参加者
	→ この体制表は社内の体制を示している。チェックチームも社内にて整えている。コストだけでなく、様々なスキルを持った人材がいるため、適宜設計内容をチェックさせて落ちが無いようしている。	日本設計
	・ 日本設計では公共施設を専門に設計しているのか。	市民参加者
	→ 様々な建物を設計している。多くの官庁施設や、全国の市庁舎も設計している。先ほど話題に挙げられた甲府市庁舎も弊社で設計した市庁舎である。	日本設計

以上